

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7806 入門簿記演習B			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜1限				
教室	D109教室				
代表教員	海老原 諭				
担当教員	海老原 諭				
テーマと到達目標	この授業では、問題演習を通じて、日本商工会議所主催簿記検定3級に合格できるレベルのスキルを修得することを目的とする。この授業は、問題演習を中心に行う授業であるため、一度、日商簿記3級レベル（全商簿記2級レベル）の学習を済ませている者が受講することを想定している。このため、初学者が受講する場合は、毎回必ず各回で取り扱う内容について予習を済ませてくること。				
概要	<ol style="list-style-type: none"> この授業は、講義、演習、総合問題演習の3つを組み合わせで行う。 講義では、各回で取り扱う学習内容について、解答を作成するにあたって間違いやすいポイント、気を付けるべきポイントを説明する。当該学習内容を1から説明するわけではないので注意すること。 演習では直前に学習した内容を、総合問題演習ではそれまでに行ったすべての講義および演習の内容を範囲として実践的な問題を出題する。 				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	【講義】商品売買取引1 (三分法/現金取引/後払い/前払い)				対面授業
第3回	【演習】商品売買取引1 (三分法/現金取引/後払い/前払い)				対面授業
第4回	【講義】商品売買取引2 (商品券/クレジット/売上原価の計算)				対面授業
第5回	【演習】商品売買取引2 (商品券/クレジット/売上原価の計算)				対面授業
第6回	総合問題演習1				対面授業
第7回	【講義】有形固定資産/消耗品/貯蔵品				対面授業
第8回	【演習】有形固定資産/消耗品/貯蔵品				対面授業
第9回	【講義】金銭貸借/その他の債権債務/資本取引				対面授業
第10回	【演習】金銭貸借/その他の債権債務/資本取引				対面授業
第11回	総合問題演習2				対面授業
第12回	【講義】精算表の作成 (修正仕訳、決算整理仕訳を含む)				対面授業
第13回	【演習】精算表の作成 (修正仕訳、決算整理仕訳を含む)				対面授業
第14回	【講義】財務諸表の作成/伝票/会計帳簿				対面授業
第15回	【演習】財務諸表の作成/伝票/会計帳簿				対面授業
成績評価の基準	<ol style="list-style-type: none"> 総合問題演習 (2回合計) 40%、期末試験60%の割合で求めた素点をもとに評価する。 次の場合は素点にかかわらず不可とする。 <ol style="list-style-type: none"> 講義実施回数の3分の1を超えて欠席した場合 総合問題演習および定期試験において不正行為があった場合 (定期試験期間中、他の科目で不正行為があった場合を含む) 				
履修にあたっての留意事項	<p>すでに日商簿記3級に合格している者がこの授業を履修することは推奨しない。 この授業では、入門簿記演習Aとは問題を変えて演習および総合演習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業の内容について質問がある場合は和光ポータル(Q&A機能)を用いて行うこと。 毎回の講義には、筆記用具、ノート、電卓を持参すること。 授業中、他の学生の迷惑になる行為は禁止する。注意しても状況が改善されない場合は教室から退出させる。 出席について <ol style="list-style-type: none"> 出席状況の確認は、授業開始後10分程度経過したタイミングで行う。このタイミングで出席していない場合は、欠席したものとして取り扱う。 本学には公認欠席の制度はない(『学修の手びき』参照)。冠婚葬祭、指定感染症、就職活動その他いかなる理由がある場合であっても欠席は欠席として取り扱う。 交通機関、学バスの遅延についても考慮しない。 				

	<p>5. 予習について</p> <p>(1) この授業は初学者対象の講義ではないため、ある程度の知識がある前提で説明を行う。学習範囲の内容について自信がない場合は、あらかじめ予習をしたうえで授業に臨むこと。</p> <p>(2) 学習用教材（教科書）を保有していない場合は、各自で購入しておき、予習の際に利用することが望ましい。</p> <p>6. 復習について</p> <p>(1) 授業中、間違えた問題については、なぜ間違えたか、どこを理解していなかったかをはっきりさせるとともに、同じ間違いを繰り返さないよう徹底して復習をすること。</p> <p>(2) 復習にあたっては、正解することを達成目標とするのではなく、分からないことがない・判断に迷うことがないことを達成目標とすること。</p>
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	実施しない
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	・電卓（通信機能のないもの。関数電卓不可。12桁まで入力できるものであることが望ましい）を持っていない人は必ず購入すること。		
教科書	なし	教科書(ISBN)	
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください</p> <p>https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</p> <p>合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---